



2月15日

ねはんえ  
涅槃会

お釈迦様が亡くなられた日



あきらかに日脚が伸びて  
気が付けば 雪の季節も終わりです。  
あたたかくなったと思えば、急に冷えたり お天気はまだまだ不安定ですが、  
春の気配を感じるこの頃です。皆様、お風邪など引かれていませんか？  
お寺では、梅や椿のつぼみが少しずつ膨らみ始めています。

さて今月15日は、お釈迦様のご命日「涅槃会（ねはんえ）」です。  
「涅槃」とは、吹き消す、消滅する、という意味ですが、  
これは、単に身体や命が消滅することを指しているのではなく、  
いわゆる「むさぼりの心」「怒りの心」「おろかな心」が消え尽きた状態を指します。



これらの心は、仏教では「三毒」といい、  
赤ん坊の時には持ち合わせていなかった心です。  
大人になるにつれて、この「三毒」は大きくなり  
自分の心をむしばんでいきます。仏教徒は、この「三毒」  
を消し去り、「おぎゃあ」と生まれた時の純粋な心（仏心）  
に戻ることを目指し、日々修行を積みまます。

ものをとりに部屋へ入って  
何をとりにきたか忘れて  
もどることがある  
もどる途中でハタと  
思い出すことがあるが  
そのときはすばらしい



身体がさきにこの世へ出てきてしまったのである  
その用事は何であったのか  
いつの日か思い当たるときのある人は  
幸せである  
思い出せぬマヽ  
僕はすごすごとあの世へもどる

杉山平一 『生』

いつの間にか、欲深く、怒りやすく、自分のことだけ考える、そんな心が身について  
私達は大切な「用事」をすっかり忘れてしまっているのかもしれない。

心についてしまった垢を少しでもきれいにし、  
この世に生まれてきたばかりの心に立ち戻って  
世の中を見渡せば、  
自分の中に眠っていた「仏心」の用事を  
ハタと思い出せるかもしれません。

涅槃会には大きな「涅槃図」を本堂に掛けます。  
すべての煩惱を消し去られたお釈迦様を前に  
静かに自分の心を振り返り、  
「仏心」の声に耳を傾けられたらと思います。



# 大智寺だより

平成27年 如月  
Vol.60

発行所

大智寺

岐阜市山県北野  
668-1

電話:058-229-1532

◀Mail▶

hybsr245@ybb.ne.jp

◀ホームページ▶

大智寺

検索

<http://www.daichi-ji.com>

当紙は、大智寺本堂及び墓地  
の水小屋にてご自由にお取り  
いただけます。  
又、当寺ホームページにて  
過去のすべての紙面をご覧いた  
だけます。ご活用ください。

1月号発行部数  
200部

ご愛読  
ありがとうございます



関市広見 長春寺様 落慶記念行事  
お稚児様の募集 ご案内

いつも大智寺の開山忌や大般若会にお越しいただき、お世話になっている関市広見の長春寺様が、このたび本堂を新しく建て替えられました。無事に本堂が完成したことをお祝いする落慶法要が5月に行われますが、その際記念行事として稚児行列を予定されています。ここ数年ご近所のお寺で稚児行列の行事が続いていますが、今回もぜひ皆様ご参列いただければと思います。

詳細につきましては、来月号にて再度ご案内致します。よろしくお祈りします。

【稚児行列日程】  
5月31日(日)

【お問い合わせ先】  
長春寺(ちょうしゅんじ)  
関市広見1990  
☎ 0575-22-3465



～ 他家の法要に出る機会の少ない奥様のため 若い世代のために ～  
(実際にお寺にご相談いただいたものから抜粋)



お寺のこと、仏壇のこと、法要のこと etc  
わからないこと 質問帳 ⑩



「法要のいろいろ 中陰法要」

仏教では、母体に生を受けた時点(しょうう)を「生有」、生きていた間(ほんぬ)を「本有」、亡くなった時点(しう)を「死有」といい、死後次の世に生まれ変わるまで(ちゆういん)を「中陰」と言います。

「中陰」以外はあまり聞き覚えがない方も多いと思いますが、葬儀の際、亡き方の年齢を計算する時には「生有」から「死有」までを数えるため、実際の満年齢ではなく、お母さんのお腹の中にいた10か月間を加えます。普段認識している年齢より少し上の年齢になるのは、この「生有」「本有」「死有」の考えからです。

さて、人は亡くなると次の「生有」を受けるまで、「中陰」という期間を過ごします。「中陰」は49日間あり、その間死者の魂はフワフワとさまよいます。

この一番不安定な時期に行われるのが、中陰法要「七日経(なぬかぎょう)」です。死者は七日ごとに色々な仏様に会い、生前の行いを顧みて、教えを受けることとなりますが、この七日ごとの節目に死者に代わって遺族や縁者が功德を積むと、その功德が死者に及び、死者の生まれ変わりに影響すると言われています。

ご命日を含めて最初の7日目(初七日)に当たる日を、「初願忌」といい、亡き人の冥福を祈るため、自分自身の遊びや楽しみをつつしみ、自身の心を清めて、善行を積んでいく最初の日です。今では、遠方に住む家族親族の便宜を図り、葬儀当日の骨上げ後に行われます。二七日からは、七日ごとにご親族の皆様とともにお経をお唱え致します。

中陰法要では、葬儀社様が用意して下さる中陰棚にお骨を置き、お花やロウソク、線香をお供えします。中陰棚がない場合は、お仏壇の打敷きを白色に替えて中陰棚としてください。この中陰法要の間のみ、お膳は亡き方の分お一つお供えしますが、四十九日法要以降は、お仏壇の本尊様のお膳と法要に当たっている亡き方のお膳と お二つお供えします。

「忌中」といわれる中陰の期間、家族は仏道精進につとめ善行を積み、四十九日法要を機に、「忌明け・精進明け」で通常の生活に戻ります。

～ 日常を豊かに『発菩提心空拳章（通称：菩提和讃）』 ～



お経のやさしい和訳（和讃）から  
毎日の生活を 心豊かに

大智寺檀信徒日課經典  
31 ページより

⑩

「<sup>あくごうざい</sup>悪業罪<sup>つく</sup>を造りては <sup>ほうじょうがき</sup>地獄や傍生餓鬼となり」

仏教では「心に3つ、身に3つ、口に4つ 合わせて10の悪業がある」といわれています。

「心に3つ」とは、①むさぼり ②怒り ③愚痴の3つ

「身に3つ」とは、①殺生 ②偷盗（ちゅうとう）③邪淫欲（じゃいんよく）

「口に4つ」とは、①悪口 ②両舌 ③綺語 ④妄語

これらに共通して言えることは、すべて「私の都合」が原因にあるということです。  
私が欲しいと思うから、私とその物事に執着しているから、私が自分をかわいがるから、  
すべて「私」を中心に、「都合よく」生活できないと、途端に悪業罪を造ってしまいます。

悪業罪を造り続けると、地獄道・傍生（畜生道）・餓鬼道に堕ちると言われています。  
それを「死後のこと」と捉えるか、「この世でのこと」と捉えるかは人それぞれですが  
「私」という枠組みにしがみついたらこそ、

身の焼けるような痛みや悲しみ、怒りや争いの炎に包まれることになり、（地獄）  
ケモノのように「あれもこれも」と食欲・色欲・金銭欲など欲求を満たそうとし（畜生）

拳句の果てに、いつも飢えた心で「まだ足りない」と嘆いている（餓鬼）

自分の心を振り返ると、地獄も畜生も餓鬼も今まさに うごめいていることがわかります。



今月のひまわり

先月の大般若会は珍しく雨模様となりましたが、肩を濡らしてお参りくださった皆様ありがとうございました。今年は初めて100%大智寺の粟を使った栗きんとんを作ってみました。黒豆は丹波最高級の大粒でしたが、私が水加減を間違えて甘くない黒豆になってしまいました（笑）また来年がんばりますね！おうどんは、お手伝いの女性陣が大活躍で、お客様の「おかわり！」にスムーズにお応えできました。ありがとうございました。

大勢集まって食事をしていたら、ふと「地獄と極楽の食事」を思い出しました。なんとなく地獄では貧相な食べ物、極楽では豪華な食べ物が出されるように思いますが、実はどちらも同じおいしい食事が出されます。この世の食卓と少し異なるのは「箸が長くて1mもある」ということでした。地獄の人は箸の扱いに手をこまねきななか自分の口に食事を運べず、結局なにも食べられませんが、フライドしてお互い争い出します。極楽の人は、向かい合った人同士が「どれが食べたいですか」「あ、これですね、ハイどうぞ」と箸で相手の口元に食べ物運び合せて、食事を楽しんでいる、というお話です。

誰だって自分をかわいがる心は付き物です。でも、どの人も心に1mの長い箸を持っているはず。その心の箸を少しでも使いこなさず、たくさんのお口に何かを運べたら・・・  
「笑いじわ あなたがくれた 贈り物」  
気付けば、自分の口元に届いているのかも（笑）

～ シリーズ 北野のおばあちゃんの味 ～

♪ 北野で丁寧に野菜を育てるおばあちゃんの味 おすそわけ ♪

素朴でじっくりかみしめたい 体にやさしい黒豆ごはん

- ① 油を敷いてないフライパンに黒豆ひと握り入れ、強火にかける。
- ② フライパンをゆすって、黒豆の皮がはげて破けるようになったら火を切る。
- ③ お米1合を普段炊くように炊飯器に入れ水加減して、黒豆も入れる。
- ④ お酒大さじ1、塩少々入れて、スイッチを押すだけ。
- ⑤ 炊きあがったら、良く混ぜて出来上がり。



お正月の甘〜く炊いた黒豆もおいしいけど、こんなごはんも、ええやろ？  
初めは炊きあがったごはん見ると黒紫色で、びっくりするかもしれんけど。  
うちはお米1合に黒豆ひと握りやけど、割合は好きなようにしてね。



# ～ うちの宗教って、どんなやつけ? ～

## 第二十三回：懺悔する



大智寺の宗門を、やさしく簡単におわかりいただければ嬉しい、そんなお話

さて、臨済宗では葬儀中「懺悔文（さんげもん）」というお経を読みます。参列されたことのある方は、聞き覚えのあるお経ではないでしょうか。

がしゃくしよそうしよあくごう かいゆうむしとんじんち じゅうしんくいししよしよ いったい がこんかいさんげ  
「我昔所造諸悪業 皆由無始貧瞋癡 従身口意之所生 一切我今皆懺悔」

短いお経ですが、死者が犯してきた悪業を懺悔する大切なお経です。漢字を拾い読みするとなんとなく内容がわかってきます。

- 「我昔所造諸悪業」 私が昔々から造ってきた諸々の悪業は
- 「皆由無始貧瞋癡」 すべて「むさぼり」「怒り」「おろかさ」の三毒からきたもので
- 「従身口意之所生」 自分自身の身体・口・心を通して発生したものです。
- 「一切我今皆懺悔」 私は今、これら一切すべての悪業を告白し、仏様に懺悔します。

悪業とは、前にも触れた「心に3つ、身に3つ、口に4つ 合わせて10の悪業」のこと。日々の生活で知らず知らず積み上げてきた悪業を告白し、悔い改める宣言を死者に代わって和尚様が唱え、死者を出家させ髪をそり、仏弟子としての名「戒名」を授けるのが、葬儀の中心となります。でも本当は、今日一日の自分の行いを振り返り、犯した悪業を内省し、そのつど仏様に向かって自分でお唱えしたいお経でもあります。



### ♪ 月に一度はお寺まいり ♪

初心者 大歓迎  
東日本大震災物故者追善供養  
毎月 第四日曜日  
定例写経会

#### 今月の日程

2月22日（日） 一回 500円  
（内 300円は義援金）  
要申込

#### 1月写経会 備忘録

寒さもようやくゆるみ、「春も目前」といった陽気の日曜日、今年初めての写経会を行いました。今回は般若心経に多く登場する人物「舍利子」（シャーリプトラ）についてのお話でした。般若心経は、観世音菩薩と舍利子という、悟りを求める者同士の対話であることから、大乘仏教の先駆けともいわれます。みんなで悟りの世界に向かう大きな船に乗る、そんなお話がこれから先、始まります。

#### ご自宅で お寺で 市営斎場で 営む 家族葬

ご家族・ご親族のみの家族葬をお考えの場合、ご自宅や市営斎場を会場に営むことができます。

また大智寺を会場にお使い頂くこともできますが、その場合、指定の葬儀社をお寺でご案内致します。必ず前もってご相談ください。

家族葬をご検討される場合は、葬儀社のこと、葬儀会場のことなど含めてまずはお寺までご相談ください。

#### 完全個別永代供養墓 1区画：38万円～ （墓石代金含む）

「永代供養墓」とは、将来お墓を守りの方がいなくても、お寺がご供養させて頂くお墓です。

大智寺の永代供養墓は、ご夫婦・ご家族一緒にひとつのお墓にお眠りいただけるタイプです。永代にわたり、他の方のお骨と混じらないことから「完全個別永代供養墓」といいます。詳しくは、ご見学を含めてご説明しますので、ご予約の上 ご来山ください。